

家族の社会学

科目ナンバリング SOC-251
選択 2単位

久木元 真吾

1. 授業の概要(ねらい)

日本の「家族」の歴史的展開と現在の状況について概説する。ジェンダーに関する話題も一部とりあげる。
※2020年度以前入学者対象の「人口と家族の社会学」の名称を変更した科目である。「人口と家族の社会学」を履修済みの学生は履修できない。

2. 授業の到達目標

特定の「家族」の形を自明視せず、その多様性を把握し、これからの「家族」やそのための社会や制度のあり方について展望を持てるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクションペーパーや諸課題(40%)、期末試験(60%)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

プリント利用予定。

参考文献

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

配布資料を再読し、自らの発見や考え、疑問点を整理しておく。

6. その他履修上の注意事項

毎回の授業でリアクションペーパーの執筆・提出を求める。講義中に発言やディスカッションを求めることもある。履修上の注意点の詳細は初回に説明し、履修者はその注意点を了承したものとして授業を進める。

将来的に久木元の社会学演習の履修を希望する者は、この科目を履修しておくことが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 家族とジェンダーの現在:性的マイノリティについての基礎知識
- 【第3回】 家族の歴史的展開(1):人口ピラミッドと日本社会の変化
- 【第4回】 家族の歴史的展開(2):「家」制度と直系家族制
- 【第5回】 家族の歴史的展開(3):戦後の家族および家族をめぐる状況の変化
- 【第6回】 家族の歴史的展開(4):近代家族とジェンダー
- 【第7回】 結婚とパートナーシップ(1):結婚をめぐる意識、未婚化・晩婚化
- 【第8回】 結婚とパートナーシップ(2):結婚の諸相:事実婚、離婚、同性婚
- 【第9回】 夫婦関係(1):時間の経過と夫婦関係
- 【第10回】 夫婦関係(2):家事・育児の負担の不平等、育児休業
- 【第11回】 親と子の関係:親子関係の諸相
- 【第12回】 多様な親子のつながり:養子縁組、里親、ステップファミリー
- 【第13回】 高齢者と家族:高齢化、介護の諸相
- 【第14回】 家族という経験:当事者の話を聞く(オンライン)
- 【第15回】 まとめ